

9 牛の肝臓腫瘍

機 関 名： 豊橋市食肉衛生検査所

氏 名： 大西 憲一

動 物 名： 牛 品種： 黒毛和種 性別： 雌 年齢： 17歳6ヶ月齢

病 歴： 特になし

生体所見： 特になし

内臓所見： 肝臓の外側右葉に厚い被膜で被われた腫瘍（35×32×30cm）を認めた。肝実質との境界は明瞭であり、肝臓は腫瘍に圧迫され陥凹していた。腫瘍の断面は、結合組織で不規則分包状に分画し、一部出血、壊死を認めた。また、各分画間で色調は異なり、暗緑色～黄褐色を呈していた。

組織所見： 腫瘍の実質は、肝細胞に類似した腫瘍細胞が、明瞭な小葉構造を形成せず、島状あるいは索状に配列していた。腫瘍細胞の核は、大小不同で1～数個の核小体を持ち、一部で多核巨細胞、核分裂像を認めた。核・細胞質比は正常肝細胞に比較して大きいものが多数認められた。細胞質はエオジン好性であり、細胞質の豊富なものから、乏しいものまで様々であった。また、細胞質及び間質にビリルビン顆粒を認めた。

固定方法： 10%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位(図示)



行政処分： 全部廃棄 ・ 一部廃棄

組織診断名： 高分化型肝細胞癌

疾病診断名： 肝臓癌